



柄も豊富な「Ashi」のポーチ。シムリアップに2店舗あるKumaeの直営店をはじめ複数のお店に置かれている

MONO語り

Vol.117 カンボジア

アンコール遺跡群の観光拠点、シムリアップで見つけたポーチや財布、名刺入れ。ナチュラルな風合いに思わず手にとってしまう。素材は、バナナの茎の繊維を独自の加工で破れにくく仕上げた手作りのバナナペーパー「Ashi（亜紙）」。作っているのは、シムリアップから約25キロ離れたアンルンピー村の女性たちだ。

実はこの村、豊かな田園地帯だったが2000年頃よりアンコールワットやシムリアップからごみが運ばれ、「ごみ山」として有名になっていた。カンボジアが好きで移住していた山勢拓弥さんはそれを目の当たりにし、ごみ集積所で働く人たちのために仕事と教育の場をつくりたいと考えた。しかし、どんな事業ができるだろうか？ 悩んでいたところ、アフリカでバナナペーパー作りを経験していた人を紹介され、それをカンボジアで事業化するためにKumaeを立ち上げた。「マーケットとしては小さいですが、エコで地球にやさしい素材という評判が広がって、認知されるようになってきました」。

バナナペーパーを作るようになって村の

文・久島玲子（編集部）

バナナの繊維が 丈夫な紙に 大变身

人たちは健康的な生活に戻り、お化粧をしたり、恋愛をしたり、普通の人間的な暮らしができるようになっていく。「ごみ山で働かなくていいのはうれしい」「私の子どもたちが大きくなったときにも、この仕事を受け継いでほしい」などという言葉が山勢さんの励みになっている。「これからは、バナナの繊維で布を作りたいです」と山勢さんの夢は広がる。



バナナの茎から繊維を取り出し、バナナペーパーを作る村の女性たち。手漉き作業だから素材で温かな味わいが生まれる

商品の購入はKumaeHPまで ▶ <http://kumae.net/>